

まちのにぎわいと市民の芸術文化の飛躍を図る

「市民交流の大ステージ」

新市民会館は、「あらゆる場所が舞台となり客席となる空間」で、ウィンドウショッピングしながらに日常的に訪れる人すべてに、芸術文化への関わりや交流のきっかけをもたらす「大ステージ」となり、水戸芸術館とも共鳴します。

施設を縦横無尽に巡る「まち廻廊」は、まちなかの散策路の延長として、市民が集い、ふれあい、交流する、だれにも開かれた「ロビー空間」になります。



1 市民の日常と非日常を織り重ねる「まち廻廊」

「まち廻廊」は、施設内の「文化機能」と「商業機能」をつなぎます。

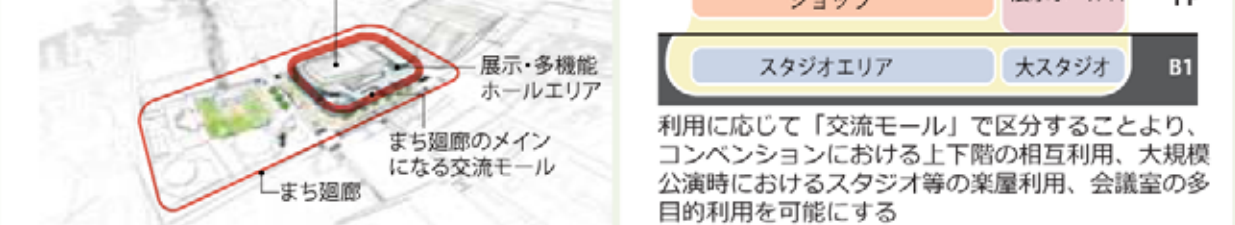
- ・建物外周部を巡る廻廊には市民の文化活動や、憩い、談話する様子が施設内外のどこからでも垣間見えます。
- ・多機能性を包含する複合文化施設として多様な市民の姿が水戸のまちに表出します。



2 わかりやすい施設構成による「大ステージ」

「大ステージ」は大ホールを中心に据えます。

- ・「まち廻廊」のメインになる「交流モール」に各ホール、スタジオ等を配置します。
- ・大ホールエリアと、展示・多機能ホールエリアはそれぞれ機能してゾーンを分け、その間を「交流モール」で連携します。



3 にぎわい・交流をまちへと発展する「まち廻廊ネットワーク」

「まち廻廊」は建物から数地外へと展開し、文化ゾーンの芸術館へ、商業ゾーンの百貨店へと接続し、周辺環境との連携を図ります。

- ・さらに廻廊は、文化と商業を結ぶ中心市街地の拠点として、みとの歴史・文化・自然・商業をつなぐ「まち廻廊ネットワーク」へと拡張し、水戸のまちに回遊性を生み出します。

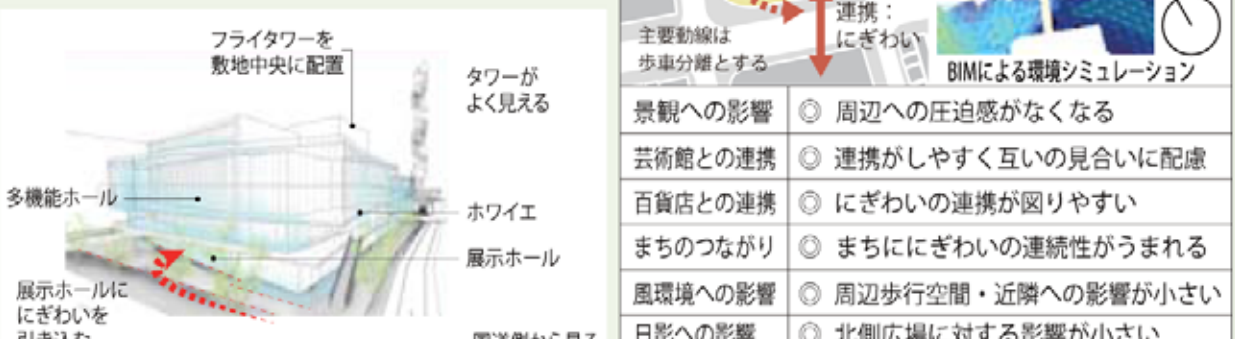


4 「文化・商業」周辺環境のポテンシャルを引き出す施設配置

・大ホールのフライタワーは防音とボリューム感の抑制に配慮し、敷地中央に配置します。

・大ホールホワイエは芸術館の広場へ向けた配置とし、道路や日常風景を視界から巡ります。

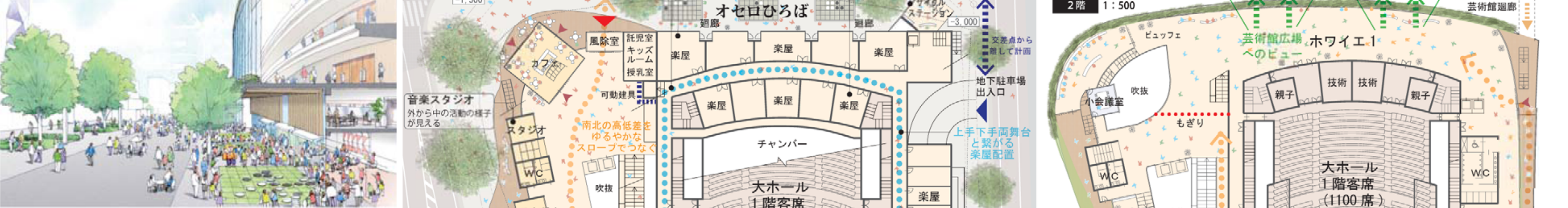
・国道沿いには開かれた展示ホールを配置し、まちなかの人々のにぎわいを引き込みます。



5 文化・芸術が日常化する「交流モール」

「ひろば」や「交流モール」には思い思いに過ごせる居場所を点在させ「交流モール」は梅林のようなやわらかい光に包まれた居心地がよい空間になります。

芸術館広場とつながる「オセロひろばと廻廊」



6 ホールは真に人間の力に出会える場

多くのアーティストから支持され、リピーターされる世界に誇れるホールをつくります。

大ホール全体が「良く響く楽器」となる

～聴きやすいホール～

- ・大ホール残響時間: 音響反射板設置満席時 500Hz±1.9秒、音響反射板格納満席時 500Hz±1.3秒を指標値設定する

～使いやすいホール～

- ・主舞台は後方上部階式音響反射板と可動プロセニアムを備え、多様な演出に対応する
- ・現代舞台美術等の潮流である映像(プロジェクション)に対応可能な後舞台(奥行)を確保する

～見やすいホール～

- ・親密感を高める客席構成
- ・客席形状は平土間1100席に加え、バルコニー1階目350席、2階目550席の構成とする
- ・バルコニー席は人体同等の吸音率とし、各バルコニーを階別し、950、1100、1450、2000席まで多様に対応する

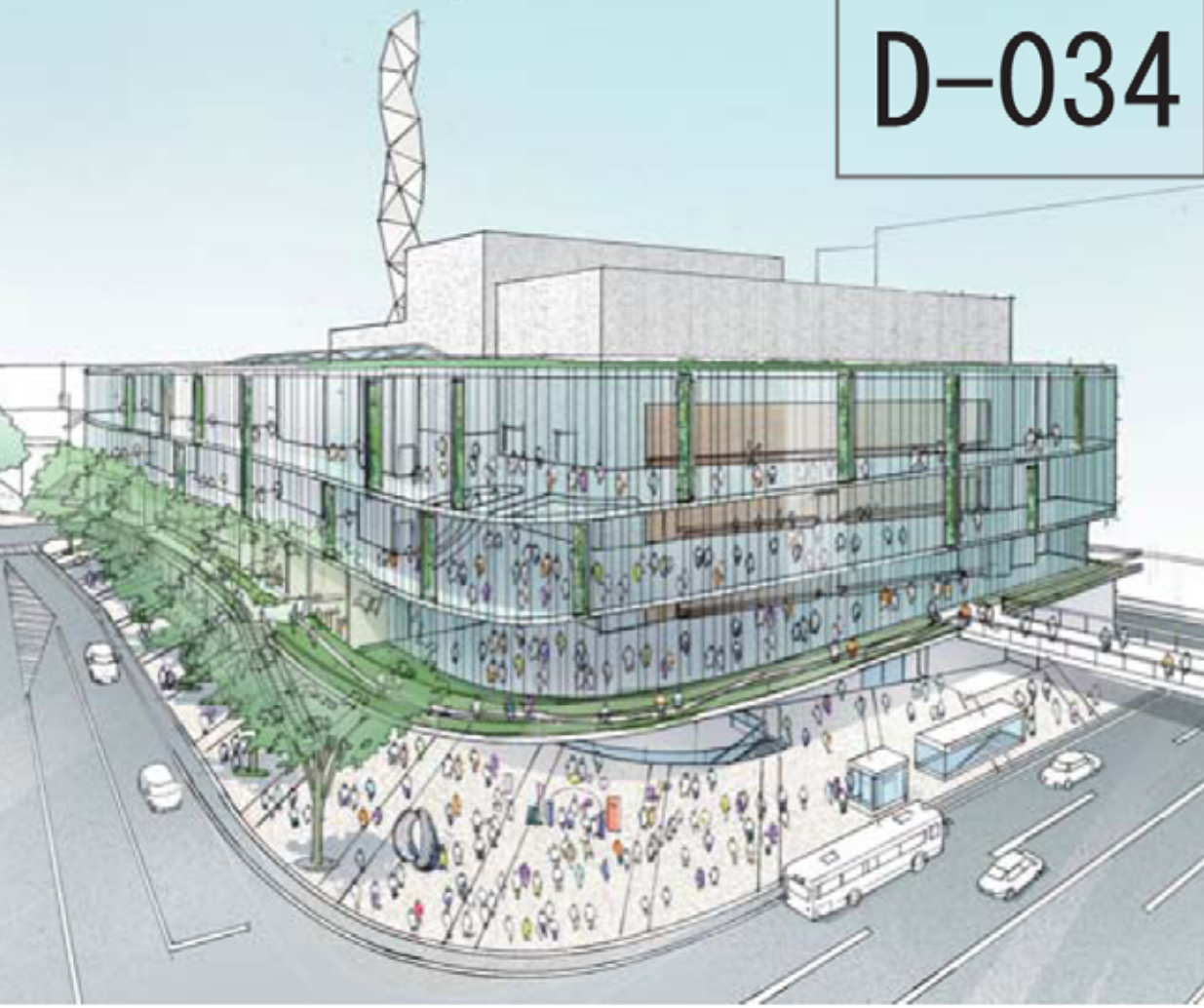
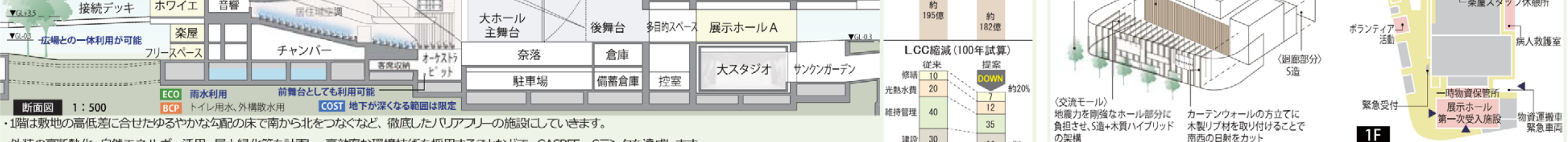


7 人にやさしい環境建築

・大ホールのフライタワーは防音とボリューム感の抑制に配慮し、敷地中央に配置します。

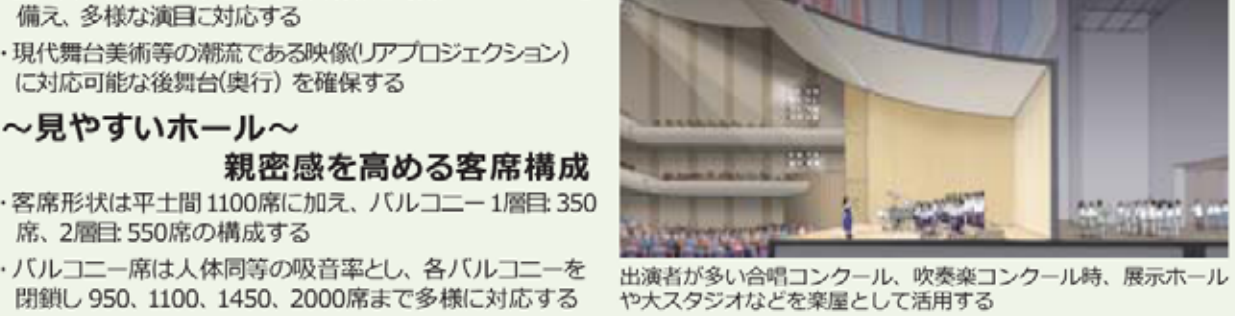
・大ホールホワイエは芸術館の広場へ向けた配置とし、道路や日常風景を視界から巡ります。

・国道沿いには開かれた展示ホールを配置し、まちなかの人々のにぎわいを引き込みます。



8 市民を守る安全な構造・防災計画

・耐震性能グレードはⅡ類:1.25を確保し、災害時には、展示ホール1を第一次受入施設として利用します。状況に応じて上階のホールも利用し、まちなかの受入数が多い一時避難場所として、電力や通信、給排水は多機能機能維持が可能な施設計画とします。



9 市民と共に、愛着をもって協創する

・市民協働プロジェクトの実績が豊富な設計チームが、市民、市関係者、運営業務委託者等との打合せ、ワークショップを実施し、綿密なコミュニケーションを図ります。

・BIMによるCGや動画等わかりやすい資料を提示して、プロセスを共有して設計を進めます。



10 市民と共に、愛着をもって協創する

・市民協働プロジェクトの実績が豊富な設計チームが、市民、市関係者、運営業務委託者等との打合せ、ワークショップを実施し、綿密なコミュニケーションを図ります。

・BIMによるCGや動画等わかりやすい資料を提示して、プロセスを共有して設計を進めます。

